
無言電話

大和尉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無言電話

【Nコード】

N7180Y

【作者名】

大和尉

【あらすじ】

何本もの無言電話が始まりの、残酷な未来。

無言電話が全てを物語る。

帰宅

「ただいま」「おかえり」

妹の歓迎を受ける。

帰ってくるのは毎日10時を過ぎる俺をいつも待っていてくれる。

ネトゲしながら

腹減ったな。今日に限って店はしまってた。

「お店。あいてなかっただろ？適当につくっておいたから食べろ」

「よく閉まってるってわかったな」

「兄貴の店の事ぐらい、アリンコでも分かる」

ははは。そうかい、所詮俺はその程度って事ね。とりあえず、いただきますともさ

ほう。グラタンか

適当にしてはいい感じじゃないか。容器はアルミだが……
妹の方をちらりとみると、ギロリと蛇もビクリの目力で凝視していた。それもちよつとずつまぶたが閉じてくる。眠いんじゃないな

「食わないから片付けるぞ」というような目だ。

食べるよ。食べますとも

冷凍食品は美味いがどこか寂しいな、愛情がこもっていないというか
うまいんだ。うまいんだよ？

「うまいか？」

「ああ」

ふっと不適な笑みを浮かべる。

ドヤ顔にも見え……ないか。

見えたところで、こいつが作ったんじゃないのがバレバレだ。
とりあえず完食。

「ごっそさん」

「さすが私だな」

「お前が作ったんじゃないだろ」

「私がチンしたんだ」

「誰でも一緒だともうぞ」

ビンタされた。なんで？理不尽すぎじゃない？

彼女とかだったらこういう反応されても不思議じゃないけど、妹だぞ？

普通の反応だったじゃないか。

まあ、この性格の女の子に言っただけで結果は見え見えだけだな。

さてと、一応紹介しとくか。

こいつの名前は永奈「えいな」。中学3年だ

俺は言原律「ことはりつ」、高校二年だ

特に他に紹介することもないな。

あるとすれば、

最近家にかかってくる無言電話ぐらいだ

何回か出たのだが、空気の音すら聞こえない

メッセージにも毎日残されていてかかってくる時間は大体午前0時だ。

警察にも連絡して連絡相手を調べて貰おうと考えたが、電話番号が000000-000000-000000

で存在しないものだった。

どこの誰が何の目的でかけてきているのか
気になって仕方がない。

というのが紹介することかな。

「風呂はいつて早く死ね」

「死ねってなんだ死ねって」

お嬢さんがお呼びだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7180y/>

無言電話

2011年11月21日13時43分発行